臺灣日日新報

本日夕刊共四頁

湖江の要衝を掌握
我が進擊態勢成る
重慶不逞の野心を粉碎

【湖南前線十九日發同盟】去る二日……湖方面の敵第……如く進擊した中支我部隊は……[illegible]

重慶江防軍を挾擊

【中支前線基地十九日發同盟】揚子江上流……[illegible]

敵の損害數知れず

【中支前線基地十九日發同盟】十三日夜半から十六日朝にかけての……[illegible]

七十三軍首腦潰滅

【中支前線二十日發同盟】石門西北十五粁毛家山にあつた敵……[illegible]

長谷川總督、青木大東亞相と要談

【東京支社電話】長谷川總督は廿日午前十時大東亞省に青木大東亞大臣を訪問し……[illegible]

灌爛鄉を完全占領

【湖北○○十九日發同盟】……[illegible]

蓮華山、金桔嶺奪取

【南支○○前線二十日發同盟】……[illegible]

樟木頭に更生の息吹

【南支○○前線二十日發同盟】……[illegible]

魯北肅清作戰開始
全華北に共產黨軍擊滅戰

【濟南二十日發同盟】北支軍では……[illegible]

清河軍區共產軍制壓

【山東前線二十日發同盟】……[illegible]

敵戰鬪機十二機擊墜
陸鷲フインシハーヘンに進攻

【南太平洋○○基地二十一日發同盟】ニューギニア方面のわが陸軍航空部隊は十九日……[illegible]

ブカ島等に敵機來襲

【南太平洋○○基地二十一日發同盟】十八日……[illegible]

海鷲敵陣地を連爆

【南太平洋方面○○基地二十日發同盟】……[illegible]

軍需品集積所爆碎

【南太平洋○○基地二十一日發同盟】……[illegible]

亞細亞の團結、解放
中國人の手中に在り
ボース首班南京から放送

重慶に訴ふ

【南京二十日發同盟】自由インド假政府首班スバス・チャンドラ・ボース氏は二十日午後九時から……（寫眞はボース首班）

[illegible]

友邦

[illegible]

日本

[illegible]

實現

[illegible]

一體

[illegible]

中國

[illegible]

ボース首班上海へ

【上海二十一日發同盟】……[illegible]

米支聯合空軍基地
恩施飛行場を急襲
陸鷲・空中戰で八機擊墜

【中支前線○○二十一日發同盟】……[illegible]

「宣戰布告に度膽拔く
シ港英軍の狼狽後日譚

【昭南二十日發同盟】……[illegible]

侵入敵機五機擊墜破
マンダレー附近に邀擊

【ビルマ○○基地二十日發同盟】……[illegible]

軍需會社法の運用
重要產業協議會から政府に建議

【東京電話】……[illegible]

緩漫な作戰に焦躁
獨紙指摘、無謀な米軍の進攻

【ベルリン十九日發同盟】……[illegible]

獨軍の戰意弱化せず
米陸軍次官戰況を報告

【ブエノスアイレス二十日發同盟】……[illegible]

伊、裏切者に特別裁判

【ベルリン二十日發同盟】……[illegible]

通信問題でも米英間に對立

【ブエノスアイレス二十日發同盟】……[illegible]

米喪失の小型船舶、輸送驅逐艦と判明

【ブエノスアイレス二十日發同盟】……[illegible]

英ファシスト首領モズレー夫妻釋放

【リスボン二十日發同盟】ロンドン來電＝英國ファシスト首領オズワルド・モズレー夫妻の……[illegible]

マウントバッテン司令官に正式就任

【リスボン十九日發同盟】……[illegible]

人事

▲坂口臺北州知事　廿一日夕高雄より臺北（鐵道ホテル）
▲谷口二郎氏（帝石臺灣鑛業所長）南方へ
▲倉石忠雄氏（南日本化學工業專務）廿一日歸臺

さあ！勝つためだ　體力を養おう

厚生省衛生試驗所檢定
體力源ビタミンAD劑
ミクダロール
[illegible]

全員一丸、生產增强へ！
東京芝浦電氣株式會社

決戰十二月號　大日本婦人會機關誌　定價四十錢
婦人俱樂部
戰爭の決をとるもの
土に生きる母は強し
戰局いよ〳〵重大苛烈、秋山陸軍中佐の特別發表記事
▲特別添付　大東亞戰爭地圖
▲空襲下の北千島に敢鬪する婦人の座談會
日本婦道記　山本周五郎
▲御眞影に拜す臣民の道…淺野晃
▲日本の母性の忠誠心…法本義弘
▲在汽小説もんぺさん…中野實
▲寫切小説花の如き妻を…渡邊啓助
空襲時の子供・老人・妊婦・病人對策
▲戰時更生洋裁講座
▲燃料節約の工夫と經驗
古毛糸編返し糸防寒更生編物

河出書房・發賣案內
日本戰爭經濟の課題
封建社會
法律思想史
スマトラ研究
印度の近代工業
豫防醫學ノート
物理學ノート
古典ギリシアの精神
比較言語學
東洋美術
產業心理學Ｉ
國防心理學

小學館版・文藝書目錄
かの子の記　岡本一平著
濱木綿の歌　小高根二郎著
支那の屛風　宇野浩二著
馬琴北齋芭蕉
戰線詩集　佐藤春夫著
起てよ印度　野口米次郎著
文學の美德　青野季吉著
大陸の青春　福田清人著
北方の窓　杉山英樹著

新刊　早坂一郎著　隨筆地質學
朝鮮の鑛產
胡人の匂ひ
過渡期の人々
朝鮮の土壤と肥料
商業文の基礎智識
東亞調查報告書
布哇史ものがたり
戰ふ半島志願兵
朝鮮國民文學集
新フイリピン讀本
東都書籍株式會社

一億豊穣に感謝し 決戰食糧增產誓ふ

全國に繰展ぐ新穀感謝行事

【東京發】五穀豊穣に感謝し決戰下の人手不足、肥料不足も凌いで食糧增產の熱意で克服した出來秋を[illegible]に感謝する新嘗祭は明日に迫つたが大政翼贊會が提唱する今年の新穀感謝行事が早くも各地で始まつた、[illegible]二十三日午後一時から明治神宮大前に行はれる明治神宮新穀獻納大會で[illegible]

[illegible]

故鹽澤大將海軍葬

青山齋場で嚴修さる

【東京發】故海軍大將鹽澤幸一[illegible]伏見元帥宮、久邇宮、李王家からの各御使ひの御差遣を仰ぎ、秋色一入深[illegible]より下賜の式服一揃が奠供され、[illegible]祭の響る中に故人の遺骸に一入の輝きを添へてゐる、[illegible]海軍大臣、宮内大臣、軍令部總長[illegible]

[illegible]

富永大將の英靈

二十日　帝都に無言の凱旋

【東京發】南方第一線において戰病死した故陸軍大將富永[illegible]の英靈は二十日午後五時三十六分東京驛着の列車で無言の凱旋をした、[illegible]

[illegible]

伊勢神宮で神饌奉獻式

二十一日擧行

【東京支社特電】全國各府縣神饌田に於て奉耕した伊勢神宮に於ける今年度の神饌奉獻式は二十一日擧行されるが臺灣を代表して臺灣青少年團本部主事武田[illegible]氏が列席する事となつた

謹訂　二十日附夕刊二面「東條さん神都で」の記事中「下宮」とあるは「外宮」の誤りに付謹んで訂正致します

幣帛御下賜

故德田翁の餘榮

【東京發】[illegible]

渡邊義彦兵曹散華

[illegible]

米英擊滅に腕は鳴る

海軍特別訓練隊　山の若人座談會（續き）

【石原義治（高雄州）】一番辛しいと思つたのは手旗だ、しかしやればやれないことはない、今では自由に出來る樣になつた、その他銃劍術、體操、銃劍術等やつて出來ないことはない、他の者が出來るのに、自分だけが出來ないと云ふのは、それは本人に自覺がないからだ

【竹村松太郎（臺南州）】はじめの頃は朝夕の體操で、節々が痛み、坐ることさへ出來なかつた程だが、一月もすると體が自由になつてどんな難かしい運動でも出來る樣になり、部隊長殿に感謝したものだ、ここで雨と風にさらされながら鍛へたこの體は、必ずや米英擊滅のために大きな火の玉と燃えて、敵陣に突擊するのだ

【宮本武治（花蓮港）】[illegible]のは手旗だ、どんな遠方に離れてゐても旗で意思を表示する事が出來る、自分は寸暇を惜んで練習につとめた、はじめは少し旗を振るとすぐ腕が痛んだが、今では何十分振らうとびくともしない、夕食の後に皆んなをさそつて手旗の練習をしたりしたので、今では思ふ存分、自分の云ひたいことを表出來る樣になつた、銃をはじめていただいた時は、銃をだきたい樣な感じがした、勿論手入も熱心にやつた、夜は銃と共に寢たい樣な氣持であつた、この銃と共に自分は戰ふのだと思ふと全身の血が湧き立つ樣な思ひであつた、體操も最初の一週間といふものは、便所に入つてもかがめない程節々がいたんだが、部隊長殿は毎朝、今に樂になるからと云つて勵まされた、今では體を屈しても、[illegible]土につきさうになる、あれだけの猛訓練を受ければ大抵は參つてしまふ筈だが、自分たちは毎朝夕の體操のおかげで、どんな猛訓練にも[illegible]事が出來る樣になつた、體重も五キログラムもふえた、全く部隊長殿のおかげで立派になつた、早く第一線に立ちたい

【大山武夫（臺東街）】銃をはじめていただいた日の感激は今でも忘れない、この銃も自分と共に第一線へ出るのかと思ふと、胸がぐつとこみ上つて來、その晩はとうとう銃を抱いて寢た、休暇で歸宅した時には、家の者は自分の體格が立派になつたのを見て非常に驚いた、母は「お前は立派な體になつてくれた、お前が戰死しても母は泣きませぬ、後には六人の兄弟が控つてゐるから心配するな」と云つて、自分を見送つてくれた

【記者】諸君の後に續く後輩への注意として、入隊までにはこれだけのことは準備して置けと云ふ樣なことがあれば、○月にわたる兵隊生活で得た經驗をもとにして一つ

【大山武夫（臺東街）】國語を大いに習つて來い、運動を大いにやつて來い、團體生活に馴れて來い、以上の三つを自分は要望したい

【大岩清一（臺東廳）】銃劍術の精神を學んで來ることが大切だと思ふ、軍隊で大切なのは先づ服從の精神である、[illegible]には青年期に入ると若者は一定の[illegible]

【加藤直一（臺中州）】あれだけ大きな損害を受けながらも[illegible]ずに突進したい

【矢野勇（臺北州）】帝國海軍の一員たる自分等は水火も辭せず[illegible]地へ行きたいと思ふ

【山本立夫（臺東廳）】ブーゲンビル島沖に次々にあがる大戰果を聞くにつけ、われ〱の血はたぎり、腕は鳴る、一日も早く戰地へ行きたいと思ふ[illegible]や先輩の後につづき立派な手柄を立てるのだ

【大岩清一（臺東廳）】部隊長殿からわが海鷲の擧げた大戰果のニュースを聞き、われ〱は非常に感激した、帝國海軍は世界一の強い海軍だ、その海軍の一員に加はつてゐる自分たちは、必らず[illegible]

【記者】既に諸君が知つてゐる樣に、先日來ブーゲンビル島沖に於て[illegible]

【下川旭（新竹州）】[illegible]

呂赫若氏に文學賞金

きのふ臺北公會堂で傳達式

[illegible]氏より呂赫若氏に文學賞金五百圓を、坂口䙥子女史に奬勵金百圓を夫々授與し受賞者呂氏起つて今後[illegible]

[illegible]

寸暇を惜んで武術を練るわが海の勇士

於南太平洋○○基地（海軍報道班員撮影　海軍省許可濟第一〇一號）

學徒八千を動員

近郊の二期米刈入に

[illegible]

金屬類回收令を改正

該當回收物件の所有者は十二月四日迄に報告要す

金屬類回收令が改正されて該當回收物件を所有する者はその物件を十二月四日までに[illegible]

臺北州產業部長談

[illegible]

分團旗授與式擧行

二十一日　臺北北警防團で

[illegible]

糖聯から八萬圓

皇軍慰問金　廿三萬圓突破

[illegible]

皇軍將兵慰問金（二十三）

八萬圓　日本糖業聯合會臺灣支部

【内譯】大日本製糖株式會社、臺灣製糖株式會社、明治製糖株式會社、鹽水港製糖株式會社[illegible]

九百圓　臺北市木炭業組合聯合會

五百圓　淺野セメント株式會社臺灣支店

五百圓　[illegible]

三百圓　[illegible]

二百圓四十一錢　[illegible]

小計　金八萬三千六百六十八圓十四錢

累計　金廿三萬三千九百八十八圓六十四錢

[illegible]

全島產業組合人の飛行機獻納運動

產組聯で基金募集要項決定

[illegible]

臺北州下中等學校陸上戰技錬成大會

[illegible]

坂口臺北州知事赴任

[illegible]

入營會員の壯行會

學徒南進研究會で

[illegible]

新嘗祭に表彰の食糧增產功勞者（十三氏）決る

[illegible]

西村文教局長入京

【東京支社特電】[illegible]

出陣の意氣に燃ゆ

臺北州下中等學校柔劍道大會

[illegible]

臺灣軍教育隊で軍馬募集

[illegible]

徴兵制に備へて

青年團員の錬成徹底

皇民奉公會で首施の方針

[illegible]

男性神經衰弱

無代進呈

かすが野莊

ラジオ

第一放送

[illegible]

第二放送

[illegible]

今日の映畫

大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界

[illegible]

會葬御禮

小森　諺

妻ツユ子儀去ル二十日午後病氣ノ爲メ死亡致候[illegible]

夫　堀　玄一

田代　松造

工藤　泉

中央劇場　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座

臺灣合同興行會社

新竹の映畫

新竹劇場　有樂館　基隆劇場

保熱カマド

求住込倉庫番

齒科　鎌田醫院

齒科　須永醫院

女子事務員募集

看護婦募集

財團法人　博愛會本部

臺灣三省堂

會葬御禮

謝　全

臺日案内

公告

[illegible]

夕刊
臺灣日日新報
十一月二十二日

ただ一途敵米英撃滅
若人勇躍國難に起つ
出陣學徒壯行會擧行さる

二十二日朝秋色映える臺北新公園に島民奉公會主催の「出陣學徒壯行會」が擧行された……、何たる威容、何たる[illegible]、臺北帝大文政學部、同豫科、高商、高校、中等學校の出陣學徒〇〇名、送る學徒大隊以下高等、男女中等學校二十九校二萬餘名、いま皆を決して門出のにはに立つた、式場に選ばれたこゝ新公園は我等ひとこれら學徒が敵米英[illegible]の雄叫びを揚げ、[illegible]た場所であり、いま自分たちを送る「壯行の祭典」が[illegible]この廣場に擧行されて若人の[illegible]新公園の歴史[illegible]の崇高さと[illegible]をもつて[illegible]した、まこと國を擧げて[illegible]決戦の秋、大君に召されて[illegible]の庭に出でたつ若人の[illegible]に[illegible]し、送る島民六百五十萬の赤誠、またこゝに[illegible]となつて迸つたのである

この朝午前九時、出陣學徒帝大以下〇〇名は[illegible]、[illegible]の武裝に[illegible]と新公園の[illegible]を踏んでそれ〴〵所定の位置に[illegible]、送る學徒二十九校二萬餘名はその後方に[illegible]

廣場を

埋めて[illegible]たる列を並ぶ右翼に[illegible]つ[illegible]、[illegible]を送る[illegible]學生生徒、先輩を送る中等學校生徒、左翼を埋める[illegible]、女子中等學校生徒一萬餘の若い[illegible]は花園の輝きに似る、この前後[illegible]の一家の[illegible]長谷川[illegible]に代り[illegible]中央本部長、および來賓として[illegible]、[illegible]、[illegible]臺北市長、安藤[illegible]、[illegible]臺北高校長、[illegible]、[illegible]が[illegible]と[illegible]、やがて定刻九時卅分[illegible]中佐の指揮刀一閃〃氣を付け〃の[illegible]令が下つた、見渡す限り場内に[illegible]ち溢れた正大の氣、[illegible]として[illegible]き中に[illegible]「君が代」が高らかに[illegible]いて宮城を遙拜、再たび[illegible]は高らかに「國の鎭め」を吹奏して[illegible]の[illegible]を行ひ「君が代」を[illegible]ののち[illegible]の[illegible]上に[illegible]ち、[illegible]を正して[illegible]たる中を[illegible]んで[illegible]の[illegible]を[illegible]に[illegible]で[illegible]代理[illegible]中央本部長[illegible]上に[illegible]つた[illegible]に溢れた[illegible]に[illegible]出陣の[illegible]を述べ力強い[illegible]の[illegible]の一言一句が出陣[illegible]

學徒の

[illegible]胸をうつ「たゞ[illegible]の下に[illegible]」[illegible]と[illegible]を[illegible]、これに[illegible]して[illegible]んだ

「[illegible]む」の烈々の氣魄のみが場内を[illegible]す[illegible]代理、[illegible]「やつてくれ」「必ずやります」と[illegible]には出さねど[illegible]代理の[illegible]みしめかみしめ、呑み込んで行く出陣學徒の決意も固い[illegible]に送る[illegible]も思ひを[illegible]に[illegible]、次で[illegible]生安井[illegible]君は切々として[illegible]つ壯行の辭を送り

留まる者は[illegible]の武運長久を祈ると共に非常時學徒の本分を[illegible]し諸兄の心を心として一意[illegible]に心血を[illegible]と[illegible]に[illegible]を打ち込み、時至らば[illegible]も亦必ず諸兄の下に[illegible]と[illegible]を[illegible]、これに[illegible]して[illegible]んだ

[illegible]出陣學徒を代表して帝大[illegible]野太郎君は[illegible]國難に[illegible]せざらん[illegible]と答辭を述べる、[illegible]

旋律に

つれて「[illegible]ゆかば」の大[illegible]は[illegible]、次で參列[illegible]の「[illegible]」の[illegible]あつて後[illegible]中央本部長の[illegible]により天皇陛下萬歳を奉唱してこの[illegible]な壯行の式典を終つた、時に十時十分次いで出陣學徒部隊を先頭に[illegible]四年以上および[illegible]學徒部隊[illegible]へ[illegible]の[illegible]を先頭に[illegible]市内[illegible]に移り、正午[illegible]グラブの[illegible]に[illegible]

出陣學徒壯行會　寫眞は會場と下右から齋藤總裁代理の告辭、出陣學徒總代の答辭、殘留學生總代の壯行の辭

盡忠の大義に徹せよ
長谷川奉公會總裁告辭

親愛なる學徒諸君
諸君は[illegible]陛下に於ける[illegible]の要請に應へ「青年學徒起つの秋到れり」として決然ペンを銃に代へて[illegible]國難に赴かんとしてゐるのであります、[illegible]島民[illegible]奉公會主催の下に[illegible]一家の[illegible]打ち揃つて諸君の行を壯んにし、併せ[illegible]諸君の烈々たる壯志に

天佑

[illegible]の加らんことを[illegible]せんと欲して此の[illegible]壯行會の[illegible]となつたのであります

學徒諸君

諸君の眼前には現に[illegible]アメリカの[illegible]が[illegible]より[illegible]口を諸君に向けて居ります、[illegible]に彼は[illegible]等[illegible]を[illegible]の飛行[illegible]に[illegible]し多數の[illegible]を[illegible]つて[illegible]兵とし[illegible]西南太平洋方面に[illegible]ゐ[illegible]を以つて[illegible]の[illegible]に[illegible]の[illegible]日本[illegible]を[illegible]蔑[illegible]出してゐます、敵から[illegible]を突き付けられて[illegible]へ[illegible]く日本國民でないことは[illegible]國以來日本歷史を貫く[illegible]であります、果然、我が[illegible]君は[illegible]たる[illegible]に[illegible]へて[illegible]起し[illegible]に[illegible]し、[illegible]出陣せんとしてゐるのであります、特に[illegible]アメリカの[illegible]出身[illegible]より[illegible]された[illegible]の[illegible]諸君として「[illegible]」の[illegible]を以て[illegible]先にと飛び立たんとする[illegible]なる[illegible]に[illegible]しましては國民として[illegible]の[illegible]はありません、[illegible]の大事に[illegible]し、一命を[illegible]つて身を[illegible]するは固より我が青少年に負荷された[illegible]大の[illegible]でありますが、然も止むに已まれぬ[illegible]に[illegible]起つて敵米英[illegible]の一途に大[illegible]出陣せんとする日本學徒の[illegible]に接しては[illegible]に[illegible]なるものがあります、[illegible]神州不滅を[illegible]とする日本國民の貴い傳統を見出した[illegible]な心地が致すのであります、今や大東亞戰爭は、文字通り大決戰の[illegible]中であります、敵米英に對してはもはや[illegible]

高砂

[illegible]ある[illegible]なく、六百五十萬一丸となり火の玉となつて[illegible]が[illegible]あるのみであります

[illegible]出陣[illegible]諸君の[illegible]が十分に伸ばされんことを[illegible]文共の[illegible]の[illegible]久ならんことを[illegible]に祈りつつ[illegible]君の行を壯んにする[illegible]であります、この上とも[illegible]に[illegible]し[illegible]のため一[illegible]と[illegible]以て[illegible]の大義に徹せられんことを[illegible]みます

島民奉公會總裁　長谷川　清

撃滅せずんば止まず
烈々出陣學徒代表答辭

今[illegible]徒は大命を[illegible]して[illegible]の[illegible]として[illegible]に[illegible]つので[illegible]あります、[illegible]一[illegible]その[illegible]しての[illegible]に[illegible]て[illegible]に立つ[illegible]は[illegible]、それは[illegible]である[illegible]ませんまして[illegible]この日本に生を享けたる我等でありました、[illegible]昭和十六年十二月八日、大東亞十[illegible]の民の[illegible]を[illegible]つて[illegible]大[illegible]は下され大日本帝國は[illegible]ました、[illegible]は固より[illegible]も[illegible]して止まんの[illegible]で[illegible]を[illegible]の下に[illegible]のであります、[illegible]我等[illegible]しましては[illegible]の感激を新にしたのであります、[illegible]が兄が弟が[illegible]を[illegible]に[illegible]、[illegible]に[illegible]を[illegible]林に或は[illegible]つき[illegible]上[illegible]を[illegible]へ[illegible]を[illegible]つつ一歩も[illegible]、[illegible]明日の[illegible]る[illegible]我等[illegible]は[illegible]かに[illegible]下に[illegible]ります、[illegible]の神と[illegible]りまし[illegible]

[illegible]の血[illegible]を[illegible]しつつ[illegible]してゐた、その我等の上に今ぞ出陣の大詔が下されたのであります
今日の勝利なくして明日の建設はありません、我等の祖國が[illegible]我等の子孫がゆるがぬ[illegible]を仰いで世界の[illegible]までも[illegible]ゆく日は唯この[illegible]に勝ち拔く[illegible]によつてのみあるのであります、今や我等は[illegible]命を大君に[illegible]りました、我々の小さき[illegible]の生命は[illegible]と[illegible]も大なる民族の生命の中に生々として[illegible]されるものであります、[illegible]の血として此の世のある限り[illegible]するのであります、[illegible]より[illegible]た[illegible]を知らずして[illegible]の[illegible]は[illegible]に[illegible]と共に[illegible]るのであります、今ぞ[illegible]以て示したこの[illegible]國の武士の道を[illegible]たる我等が三尺の秋水をとり一死以て國に[illegible]るの日[illegible]

時到らば吾等も續かん
武運長久を祈る壯行の辭

であります
いざ征かん[illegible]するものぞ我等は[illegible]のつゞく限り[illegible]の折れるまで、否、[illegible]つきなば[illegible]の[illegible]手足はもがれ[illegible]の[illegible]る限り[illegible]ある限り[illegible]の[illegible]くるまで[illegible]

昭和十八年十一月二十二日
出陣學徒代表　臺北帝國大學
[illegible]部　[illegible]野　太郎

[illegible]の大詔[illegible]せられて[illegible]に一[illegible]年、[illegible]の下、[illegible]武なる皇[illegible]將士の[illegible]により[illegible]、[illegible]不敗の[illegible]にあります、[illegible]りと[illegible]は正に[illegible]の[illegible]天地に[illegible]し、[illegible]日に日に[illegible]の[illegible]を[illegible]へ、死[illegible]の[illegible]は一大決戰の[illegible]を[illegible]する[illegible]、今や大東亞[illegible]たる[illegible]の[illegible]に[illegible]る[illegible]ものがありませうか、その[illegible]ものあり、[illegible]に男子の本懐之に[illegible]るものあり、[illegible]の[illegible]として[illegible]れんとする、その[illegible]を[illegible]

この[illegible]に勝ち拔くべき[illegible]を[illegible]にしたのであります、[illegible]出陣の大詔[illegible]するや兄等は[illegible]の[illegible]として[illegible]しくも[illegible]の[illegible]を[illegible]り、[illegible]に[illegible]て[illegible]の[illegible]に[illegible]せられ[illegible]る[illegible]は兄等の武運長久を祈ると共に非常時[illegible]の[illegible]を[illegible]し、[illegible]の心を心として一意[illegible]に[illegible]し、[illegible]と[illegible]の[illegible]を[illegible]の[illegible]を以て[illegible]

昭和十八年十一月二十二日
出陣學徒壯行會[illegible]代表
臺北帝國[illegible]
[illegible]　安井　[illegible]

規格統一問題
大量生産の必須條件
月曜摘錄

大[illegible]國內[illegible]の[illegible]は、之を統一しなくても良いものを[illegible]一して統一しなければならぬものを統一して居らなかつた。

然らば、統一しなくても良いものとは如何なるものかといふと、それは人である。各時代に作られる人を見ると、昔は定つた[illegible]の[illegible]も無く、各地方の先生が[illegible]に人を[illegible]へ、文[illegible]は[illegible]もその天分を思ふが[illegible]に伸ばして行つたので、其中から素晴らしく偉大な人物が生れて來た。[illegible]でも[illegible]でも、皆いまのやうな型に嵌つた教育は受けたものでは無かつたが、ズバ拔けて偉い人物であつた。然るに、型に嵌つた教育が行はれ、且つその[illegible]が[illegible]して來ると、[illegible]でも首席とビリの[illegible]が短縮され、ズバ拔けて偉い人物も見當らないやうになつた。

つまり[illegible]が統一された[illegible]であるが、その[illegible]も[illegible]ものであれば[illegible]に角、[illegible]のやうに自分の[illegible]けず[illegible]、個人の立[illegible]その[illegible]み[illegible]る[illegible]に[illegible]つた人物が大[illegible]に作られてゐた。併し之では不可ない。[illegible]の大[illegible]に[illegible]しては自己を[illegible]る大人物が[illegible]の[illegible]となつて[illegible]來る。[illegible]つて、人間の[illegible]は[illegible]くも今[illegible]のやうな[illegible]では[illegible]しいことでは無いが、品物の[illegible]統一はこの[illegible]りにあらず、目下の[illegible]是非とも必要だ。

◇……◇

[illegible]の[illegible]は、[illegible]の[illegible]る[illegible]の[illegible]に自[illegible]を失はしめねばならないが、それには[illegible]の[illegible]した我が[illegible]にも[illegible]を[illegible]へねばならぬ。[illegible]して、[illegible]の[illegible]をも[illegible]するには

[illegible]の生産力を[illegible]に[illegible]して行かねばならないが、之には先づ生産上の[illegible]を[illegible]して進まねばならぬ。[illegible]が、その[illegible]の一つとして、[illegible]の[illegible]不[illegible]が[illegible]くないのには今更[illegible]ない。

[illegible]へば[illegible]の[illegible]き、[illegible]に二[illegible]の[illegible]を[illegible]つて[illegible]が統一されたとは[illegible]るが、[illegible]一[illegible]に上る[illegible]あり、その[illegible]でも一[illegible]の本になつて居るとは[illegible]併し、[illegible]の如き[illegible]の[illegible]統一なのは個人主義、自由主義の[illegible]だ。即ち、同じ品物でも之を作る幾つもの會社工場が、その[illegible]分[illegible]まで少し[illegible]寸法や[illegible]を違はせて作つて居るのは、何よりも先づ利益の[illegible]を[illegible]つて居るのであつて、之こそも個人主義、自由主義

[illegible]と云はずして何であらう。

[illegible]し、之等の[illegible]や[illegible]の[illegible]を統一したらどうなるか？第一には大[illegible]生産が可能となる。第二には生産[illegible]を[illegible]化して[illegible]を[illegible]し、作業[illegible]を[illegible]にしてそれまで[illegible]と勞力を省き、第三に[illegible]の[illegible]を減少し、第四には[illegible]が[illegible]によつて[illegible]を[illegible]らしめることが出來るが、右の中[illegible]一にあげた[illegible]大[illegible]生産が可能となることは[illegible]の場合[illegible]も國家の[illegible]に[illegible]するものではあるまいか。

◇……◇

規格統一の[illegible]はさう新しいものでは無くて、世界的には米國[illegible]に[illegible]された[illegible]「[illegible]化運動」がその最初であり、我國に於ても大正の末頃[illegible]內に工業[illegible]が出來ると私は聞く。（刀水逸人）

一[illegible]して[illegible]、[illegible]の[illegible]入するものの[illegible]を一[illegible]する目的を以て[illegible]を出し、[illegible]の[illegible]を[illegible]して[illegible]に至り、[illegible]の[illegible]は[illegible]以外の何ものでも無い。

但し、[illegible]の[illegible]によると、[illegible]の[illegible]統一は[illegible]や[illegible]の[illegible]を[illegible]げるといふが、之は一[illegible]ないことも無い。されど、[illegible]へると、それは先づ統一されなくても良い人間の[illegible]が統一され、且つ[illegible]化された[illegible]であつて、人間[illegible]は[illegible]統一を[illegible]け、それぞれの持つオリヂナリテーを十分に[illegible]するやう[illegible]めたならば、大いに[illegible]も[illegible]の[illegible]も[illegible]ることが出來ると[illegible]に[illegible]ふ。

鐵鋼道振興會結成

[illegible]の秋に[illegible]へる[illegible]會の[illegible]を[illegible]ってゐた[illegible]二十一日午後一時より[illegible]に於て[illegible]を行つた

ベンゴール州に疫病

【イスタンブール二十日[illegible]】デーリ・テレグラフ紙ニューデリー特派員は二十日[illegible]ベンゴール州に疫病が大流行する[illegible]があるが[illegible]これに[illegible]しても[illegible]の[illegible]ない[illegible]の通り[illegible]してゐる

ベンゴール州の[illegible]はその後に大[illegible]を伴ふやうな[illegible]が發生する可能性がある、現在少くとも百萬の人間が食糧不足のために[illegible]に對する抵抗力を失つてゐる状態である、コレラ、[illegible]、マラリア、[illegible]、[illegible]はベンゴール州のインド人に[illegible]の[illegible]だが、コレラは既にカルカッタその他の地區において發生して居り、[illegible]及び[illegible]マラリアも[illegible]に[illegible]してゐるやがて冬が來れば[illegible]によつて抵抗力を失ひ、全くのぼろ布しか[illegible]に[illegible]ずにゐる[illegible]の[illegible]が[illegible]に[illegible]る[illegible]が多分にある、しかるにインドには[illegible]、[illegible]が少く[illegible]の大[illegible]に[illegible]へるための[illegible]の[illegible]は何[illegible]にも見當らぬ、インド[illegible]とベンゴール州[illegible]はこの[illegible]に對し、その努力の[illegible]が[illegible]されて[illegible]正に[illegible]である

昭和十八年十一月二十二日
[illegible]壯行會[illegible]代表
[illegible]
[illegible]　安井　[illegible]

敵執拗に反攻を企圖
南、西南太平洋血戰熾烈
週間戰況

【東京[illegible]】[illegible]における過去一週間の[illegible]は左の如し

△北方方面　最近米國はアリューシャン方面よりする日本本土空襲の企圖を[illegible]したと[illegible]してゐるがこの方面の[illegible]は[illegible]に[illegible]ける[illegible]の[illegible]は[illegible]進められてゐることは[illegible]して[illegible]出來ない

△支那方面　地上作戰　△北支方面、各[illegible]と[illegible]に[illegible]を[illegible]も作戰[illegible]以來[illegible]に[illegible]的にこれが[illegible]を[illegible]すべく[illegible]に[illegible]迫る[illegible]に[illegible]を[illegible]中である、[illegible]西[illegible]の九月中旬以降十一月十日までの[illegible]は[illegible]五九五、[illegible]、小銃一、四七〇、[illegible]施設七六四

△中支方面　江南作[illegible]は目下[illegible]に[illegible]中で[illegible]を包[illegible]を[illegible]中である、十一月十七日までにおける[illegible]は十九日大本營發表の通りである

△南支方面　[illegible]の[illegible]は[illegible]を[illegible]めて十四日には[illegible]に[illegible]した

航空作戰　[illegible]は我が地上部隊の[illegible]に[illegible]中で[illegible]の[illegible]は[illegible]して[illegible]が我が[illegible]の[illegible]に[illegible]れて目的を達せず損害を[illegible]してゐる、十日及び十一日には[illegible]に[illegible]が來襲したが[illegible]を[illegible]した

△ビルマ方面　地上作戰　怒江西岸の[illegible]の[illegible]は[illegible]に[illegible]出せんと我が包圍下に[illegible]いでゐる、怒江東岸方面の[illegible]は[illegible]に[illegible]てゐる

[illegible]に[illegible]としてゐる、モンドウ[illegible]の[illegible]は引[illegible]き[illegible]を[illegible]めてゐるが未だ[illegible]的[illegible]を[illegible]するの[illegible]には至つてゐないものと見られてゐる

航空作戰　[illegible]の出[illegible]は[illegible]である、十一月上旬[illegible]の出[illegible]は二百六十二[illegible]、[illegible]十二日[illegible]で我が作戰[illegible]に[illegible]の[illegible]に[illegible]目[illegible]を[illegible]その[illegible]はアキャブ方面に最も[illegible]く[illegible]方面に[illegible]する[illegible]の[illegible]と此の[illegible]に[illegible]する上[illegible]の[illegible]なることが[illegible]される

△ソロモン方面　トロキナ岬附近では[illegible]中で十月二十七日以來五[illegible]に[illegible]る[illegible]に[illegible]的[illegible]を[illegible]したにも拘らず[illegible]も反攻企圖を[illegible]せず上[illegible]に[illegible]を行れると共に[illegible]、[illegible]の大[illegible]の[illegible]を[illegible]して[illegible]

を反復してゐる、之に[illegible]し我が[illegible]は[illegible]を以て[illegible]の大[illegible]を[illegible]してゐる、[illegible]五[illegible]の[illegible]は[illegible]十一日[illegible]十三日未明、十七日未明及び早朝の四[illegible]に[illegible]つてブーゲンビル[illegible]に[illegible]されてゐる、[illegible]は[illegible]大[illegible]四次[illegible]五次ブーゲンビル[illegible]と[illegible]を[illegible]、[illegible]の[illegible]を[illegible]すると[illegible]第三次[illegible]に於ては[illegible]一隻を[illegible]、[illegible]大型[illegible]一隻を中破、大型[illegible]二隻を小破、大型[illegible]一隻[illegible]、[illegible]一隻、[illegible]二隻を[illegible]大破炎上せしめ我が方は[illegible]を出した、[illegible]では大型[illegible]二隻、中型[illegible]に[illegible]、[illegible]中型[illegible]の[illegible]一隻[illegible]したが[illegible]

又第五次航空戰では大型[illegible]一隻[illegible]、中型[illegible]一隻[illegible]、大型[illegible]一隻、[illegible]、[illegible]の[illegible]を[illegible]したのである、之に[illegible]く十七日のトロキナ沖[illegible]では小型[illegible]三隻[illegible]一隻[illegible]一隻を[illegible]上[illegible]の[illegible]を[illegible]の[illegible]の[illegible]を[illegible]げ我が方は[illegible]、チョイセウル[illegible]に上陸した[illegible]はその目的を達したるを以て[illegible]した、[illegible]の[illegible]は[illegible]してゐる、ブイン[illegible]地區においては十一月上旬までに二十七[illegible]を[illegible]した、ラバウルに[illegible]の[illegible]して[illegible]は十一日[illegible]二百[illegible]が來襲したがその[illegible]百六十五[illegible]が[illegible]された[illegible]は三分の一以上の七十一[illegible]を撃墜した、此の[illegible]で我が方は[illegible]一隻[illegible]、[illegible]一隻小破、[illegible]十[illegible]の[illegible]を出した、次いで十四日[illegible]十[illegible]がラバウルに來襲したが[illegible]を[illegible]せしめた、一方

我が[illegible]は十日[illegible]ブーゲンビル島[illegible]トロキナ河口[illegible]、[illegible]の[illegible]上[illegible]地を[illegible]五[illegible]に大火災を生ぜしめ、十二日夜にはトロキナ岬、十三日未明にはモノ[illegible]、十五日夜には二[illegible]に[illegible]つてトロキナ岬及びモノ[illegible]十六日未明にはトロキナ河口[illegible]アタ[illegible]及びトロキナ岬を[illegible]的に反復[illegible]し[illegible]な打撃を與へたが特に十六日未明の[illegible]ではブルアタ[illegible]及びトロキナ岬の[illegible]近く一[illegible]に大火災を生ぜしめた、十七日早朝にトロキナ岬沖に[illegible]一隻を[illegible]上陸して[illegible]の[illegible]の[illegible]を撃退し[illegible]に[illegible]の如く[illegible]ブーゲンビル[illegible]を[illegible]し[illegible]にラバウルを[illegible]して今後の[illegible]を[illegible]に[illegible]せんと[illegible]する[illegible]を一[illegible]と[illegible]つつ大な[illegible]と血の[illegible]を[illegible]けての[illegible]り、[illegible]の[illegible]は反[illegible]に[illegible]し[illegible]は一[illegible]に米英[illegible]の[illegible]を[illegible]めねばならない

△ニューギニア島方面　フインシハーヘン及び[illegible]七[illegible]では[illegible]

マダン南方[illegible]で[illegible]が[illegible]されてゐる

[illegible]作戰　ソロモン方面に[illegible]が[illegible]中であるにも拘らず此の方面の[illegible]は[illegible]してゐないが[illegible]は[illegible]を[illegible]めてゐる、十三、十五兩日マダン及びその北方に[illegible]した[illegible]の[illegible]百[illegible]十[illegible]が來襲したがその二十四[illegible]を撃墜[illegible]我が方は[illegible]三[illegible]、又十五日我が[illegible]の[illegible]は[illegible]は[illegible]マーカス[illegible]マラワサの[illegible]飛行場を攻擊して[illegible]十七[illegible]を[illegible]七[illegible]を地上[illegible]炎上せしめた我が方未[illegible]七[illegible]が[illegible]は十二日未明北[illegible]ポートダーウイン方面の[illegible]地を[illegible]の[illegible]の[illegible]を[illegible]除しつつポートダーウインでは[illegible]に火災を生ぜしめブロックス・クリークでは飛行場附近の[illegible]を[illegible]し[illegible]の[illegible]を[illegible]して[illegible]的[illegible]を[illegible]せしめステートルポイントでは飛行場附近の[illegible]を[illegible]して一[illegible]に大火災を生ぜしめた、ベッチニラでは飛行場に[illegible]を[illegible]中二[illegible]に火災を生ぜしめ更に十五日未明ニューギニヤ島フナの[illegible]飛行場[illegible]、飛行[illegible]ならびに[illegible]施設に[illegible]を[illegible]中せしめた我が方何れも全機無事[illegible]

△バンダ海方面　十三日夜セラム島ブラに[illegible]カタリナ[illegible]飛行艇P・B・Y五、二[illegible]が來襲したが我が地上部隊はこれを[illegible]ギルバート諸島に[illegible]しB二四[illegible]を以つて二回に[illegible]り攻撃を加へ更に十五日朝もB二四九[illegible]を以て[illegible]し來つたが我が地上部隊は兩日共その[illegible]を[illegible]しその他に[illegible]大な損害を[illegible]へて[illegible]した、我が方には[illegible]めて[illegible]な[illegible]があつたのみである、また十五日[illegible]はナウル[illegible]附近[illegible]にて[illegible]飛行艇P・B・Y一[illegible]を撃墜した

△中部太平洋方面　[illegible]は十三日夜エリス諸島フナフチ[illegible]の[illegible]ならびに[illegible]施設を[illegible]し一ヶ所を[illegible]五ヶ所を[illegible]上せしめた[illegible]に[illegible]つて[illegible]を生ぜしめたのみである、[illegible]タニンバル[illegible]サムラキ附近海上では我が[illegible]はロッキード一[illegible]を[illegible]しめた

獨軍戰況公報

【ベルリン二十日[illegible]同盟】獨軍大本營二十日公報
△東部戰線　[illegible]ニア方面の[illegible]における[illegible]の反[illegible]作戰は[illegible]かる[illegible]の抵抗と惡天候並に地形的[illegible]にも拘らず[illegible]されてゐる、[illegible]は[illegible]を[illegible]して[illegible]に[illegible]し[illegible]に[illegible]を加へ[illegible]、[illegible]なこれを[illegible]した、[illegible]前[illegible]によつて占[illegible]されたジトミールに對し[illegible]は[illegible]を加へ十九日[illegible]同市の[illegible]において[illegible]の[illegible]と[illegible]しい[illegible]を[illegible]、[illegible]の[illegible]において十九日[illegible]が[illegible]されたがこの[illegible]に同市西[illegible]においては[illegible]されてゐる、同市東北における[illegible]の[illegible]の[illegible]を[illegible]けた[illegible]の[illegible]は[illegible]により[illegible]された、一方[illegible]は[illegible]に[illegible]して反[illegible]を加へこれを[illegible]した

敵七十五軍完全捕捉
包圍圈内に大殲滅戰展開

【中支〇〇[illegible]二十一日[illegible]同盟】[illegible]七十五軍の[illegible]をしての[illegible]の[illegible]を[illegible]すべくわが[illegible]〇〇部隊は十九日[illegible]に[illegible]を[illegible]して一路〇〇方面に向け[illegible]を[illegible]同日夕[illegible]を[illegible]四十四軍主力を[illegible]洞（[illegible]西南四十七粁）[illegible]に[illegible]迫二十日朝には包[illegible]を完成、逃げ場を失つて死[illegible]ひの抵抗を試みた[illegible]に[illegible]し[illegible]の協力の下に[illegible]なる[illegible]を[illegible]、二十一日早くも敵第四十四軍主力を[illegible]、[illegible]の[illegible]を[illegible]したわが包圍網内には[illegible]十九[illegible]第五十五師も含まれてゐる[illegible]その戰果は[illegible]大なるものがあると見られ、また[illegible]の[illegible]を[illegible]いて[illegible]中の〇〇部隊は[illegible]において[illegible]七十四軍の一[illegible]を[illegible]捕捉二十日[illegible]を[illegible]中である、[illegible]二十九[illegible]が[illegible]れとなつて[illegible]を[illegible]してゐるの[illegible]に[illegible]しわが[illegible]の[illegible]は[illegible]敵に[illegible]を[illegible]へつつあり[illegible]七[illegible]十四軍[illegible]の[illegible]は正に[illegible]の灯と化してゐる、更に[illegible]を[illegible]いた[illegible]はこれら[illegible]に[illegible]して二十日午後[illegible]早くも[illegible]西南四十五粁の[illegible]に[illegible]〇〇を[illegible]呼の間に[illegible]みつつ[illegible]である、[illegible]二十九[illegible]が[illegible]れとなつて大[illegible]を[illegible]してゐるのに[illegible]しわが[illegible]の[illegible]はますます[illegible]り〇〇へ、〇〇へとわが[illegible]はいよ〳〵[illegible]である

獨、ジリ押しに壓迫
赤軍ジトミールから後退

【ストツクホルム二十日[illegible]同盟】[illegible]ジトミール[illegible]により久しく[illegible]りにしてゐた赤軍はやうやくアストフ・コロステンを[illegible]ぶ線の方向へ[illegible]を[illegible]なくされてゐる[illegible]は[illegible]を以てドイツ軍に[illegible]する[illegible]と[illegible]強い[illegible]力を示したドイツ軍は[illegible]トミール北方並に東方で[illegible]死となつて[illegible]する赤軍との間に[illegible]まる大[illegible]を[illegible]して[illegible]り目下キエフ、ジトミール、コロステンを結ぶ三角地帶[illegible]の[illegible]を[illegible]命をも決すべき[illegible]となつてゐる、ニーピー通信モスクワ[illegible]によればジトミール附近に打込まれたドイツ軍の[illegible]を[illegible]するため[illegible]は[illegible]、歩兵、[illegible]の大[illegible]を[illegible]する[illegible]西南方面では[illegible]キエフ[illegible]を[illegible]し[illegible]を[illegible]されてゐると[illegible]は[illegible]が、[illegible]の[illegible]はジトミール[illegible]に[illegible]を[illegible]へジトミール北方の赤軍は[illegible]コロステンの方向へ[illegible]されつつあると[illegible]れ、從來キエフ南方三十五[illegible]のフアストフからジトミール[illegible]

米、佛委員會に抗議

【ブエノスアイレス十九日[illegible]同盟】ワシントン來電＝米國務長官ハルは十九日[illegible]において米國政府はレバノン[illegible]に[illegible]しアルジエーのフランス[illegible]委員會に抗議を提出した[illegible]の如く言明した
米國政府はレバノン國の完全獨立を希望するアルジエー[illegible]にて發したメッセージについて米國は同[illegible]がこの[illegible]に[illegible]つてレバノンの危機を急速に解決する[illegible]を[illegible]した、政府はベイルートの米政府代表ワッヅワースに對し直ちにアルジエーに赴きフランス解放委員會に對し米國の見解を[illegible]すべしとの命令を發した

人事

▲小[illegible]氏（[illegible]）[illegible]
▲[illegible]氏（第一生命[illegible]）二十一日[illegible]北

水仕事の後
オソをよく擦り込んでをけば手足の荒れを防ぎひゞ赤ぎれの予防になります
オソ
三十錢・五十錢・一圓

南太平洋
戰闘機部隊
實戰座談會

航空機增産婦人部隊座談會
海軍兵學校卒業式　岡田[illegible]

主婦之友
十二月號　四十錢
空襲隣組防空座談會
婦人子供防寒服
★防空生活と家内整理・中
★消火の急所・警報の[illegible]
◎三たび迎ふ十二月八日・竹田[illegible]
◎日本精神講座・齋藤[illegible]
▲第二回國[illegible]軍國の母感激物語
▲うた日記・石川武美
◆決戰貯蓄生活特輯
◆決戰食生活特輯
◆決戰衣生活特輯
◆男女用防寒股引と婦人用下穿の作り方
◆新規格標準型戰時和服の更生と仕立方

疲勞
脚氣
エビオス

腸に
ビオフェルミン
[illegible]

六百五十萬島民の餞

[illegible]りなくその盛會を祝に、いまぞ出で征くこれら學徒はこみあがる感激に昂へかれて「海ゆかば……」を絶唱した、[illegible]悠久の大義に生くる喜びに溢ちて出で立つ學徒は命の限り[illegible]、[illegible]今こそ「海ゆかば」に[illegible]、學徒諸君!!武運の一念に燃ゆる[illegible]、されば[illegible]六百五十萬の島民は[illegible]行の餞を[illegible]るのである——

若人の熱血は迸しる
けふ壯行の盛典
繰展ぐ…島都に感激繪卷

皇民奉公會主催

この日 早くも午前九時三十分新公園は參列學徒に埋まつた、大日章旗を仰いで擧行された出陣學徒壯行會——皇民一家の名の下に行はれた、[illegible]な壯行の式典であつた、皇民奉公會代理として奉公會中央本部長、近藤軍參謀長、[illegible]少佐を始め島都主たる官民に交へ子を見送る[illegible]大學總長以下各學校長の顔も見える、式場を圍んで幾萬にも市民の黑山が築かれた、この行に誰よりも深い感慨を抱くお父さんやお母さんたちが立錐の餘地もなく一般市民に交つてゐることはいふまでもない

やがて 樂隊中佐の指揮刀がサット虚空を切つて一際[illegible]けの號令が場内を壓して響き渡つた、式が始まつたのである、國民儀禮[illegible]と行はれてゐた儀式であつたが、いで征く學徒には國民儀禮をけふ程深く[illegible]行つたことはなかつたのである、我等の本部長[illegible]さんが總督代理としてどうしりくと靴音を鳴らせて壇上に登つたのである

親愛なる學徒諸君!! 總督代理は先づ、かう呼びかけ[illegible]一家の家族打ち揃つて諸君の行を壯にし、諸君の烈々たる壯志に天佑神助の加はらんことを祈念せんがために、この壯行式典を開いた所以を說いた いまこそ我が學徒諸君は[illegible]出陣せんとす、醜アメリカの學生兵に負けるな

と昔々句々肺腑を突へれば出陣學徒は感激を否んでこれを聞く、そして無言の裡にもその眉宇には[illegible]しい

闘魂が 燃え、その胸の中には米英撃滅せずんばやまぬ[illegible]決意を示してゐた、[illegible]代表臺北高校の安井道夫君[illegible]吾等も亦必ず諸兄の下に馳せ參ぜん と切々と壯行の辭を述れば出陣學徒代表帝大生金野太郎君は

今ぞ祖先が身を以て示したこの島國の武士の道を奉げた吾等が三尺の秋水をとり一死以て國に報ゆるの日は來た、いざ征かん醜米英何するものぞ

とけふよりはかへりみなくての決意を述べ、天地神明も照鑑あれと誓ふ熱烈、不動の答辭に凛としてあつぱれ一かどの學生兵であつた、他の學徒も拳をにぎりしめ、ジッと唇を噛む、[illegible]の音頭で聲限りない「海ゆかば」の

大合唱 は新公園の杜を壓し去り、遠く遠く木靈を呼ぶ、ああ[illegible]出陣學徒たちの紅頰に流れる一筋一筋熱いものの滴らすか[illegible]ける彼等の面は何と凛々しいことだらう、女學生のつづいて歌ふ「皇民われ」に[illegible]の感激はひとしほ大きく[illegible]は昂められ、場内はしばしどよめく

かくて 二時間に亘る壇上に起つた奉公會中央本部長の[illegible]で天地も裂けん、米英にも轟けよとばかりの萬歲三唱が奉唱され、送るもの送らるるもの只その決意を[illegible]ちてしやまんの一念に結集してこの輝かしき壯行の式典を終了したのは正午少し前であつた

沿道搖がす歡呼、感激
赤襷凛然・市中行進

壯嚴極まりなき壯行の式典が終るや出陣學徒を交へた武裝行進は堂々新公園から進發された、凛々しい武裝、赤襷も凛然たる出陣學徒を先頭に舗道を強く踏む靴音は醜米英を壓倒せんばかりの迫力があつた、沿道には市民が國民學校の兒童たちが日の丸の小旗をかざして待ちうけてゐる、"出陣學徒が來た!"、擧る喊聲と共に旗が律動的な波をたてる、萬歲萬歲の歡呼が出陣學徒の先へ先へにわき上る、[illegible]多くの學生の中に、わが子を見出す母の姿、アア[illegible]、わが子の立派な武者振りにしばし見とれるその母であつた、[illegible]の一念に燃えて一歩一歩と、町から町へと進む出陣學徒の[illegible]、感激に咽びつつ、[illegible]キラリと光るものがあつた、行進經路は[illegible]—[illegible]—[illegible]—太平町—北門—京町—榮町を經て堂々とつづき、再び新公園に歸[illegible]

新穀感謝祭
稻荷神社で執行

廿三日午後一時半より皇民奉公會臺北市支會主催で臺北市稻荷神社に於て新穀感謝祭を執行するが、市民代表として各區會長、各町[illegible]參列する事になつてゐる、[illegible]市民多數の參拜を希望してゐる

大日本青少年團
神宮神饌奉獻式

【宇治山田電話】全國千五百の青少年から奉納した神饌田の新穀を始め數々の海山の幸を皇祖の大御前に奉納して神恩に奉謝する大日本青少年團晴れの神宮神饌奉獻式は二十一日午後一時半から內宮、外宮兩大御前でいとも嚴粛に執行された、この日全國から選ばれた晴れの青少年代表三百四十名は野口副團長に引率され、午前九時二十三日東京から來田、外宮前で[illegible]を受けた後、外宮、內宮に參拜、午後一時半から內外宮神樂殿で神饌奉獻式を擧行、全國若人が[illegible]こめた新穀並に數々の海山の幸を奉じく、島神の大御前に奉獻、神恩を奉謝し、ここに明治神宮、靖國神社、伊勢神宮への神饌奉獻の大任を滯りなく終了した

學徒出陣
井上雄二

大君の命畏み來ゆ大丈夫我も執りて立つ

古の防人すら斯くのこと頌び征きしと[illegible]

かにかくに勝たねば止まぬ戰なり擧[illegible]

乙女の眞心示す
"出陣學徒壯行會"
桔梗倶樂部

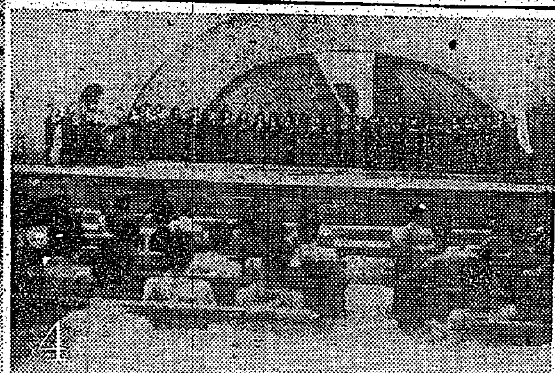
[illegible]出陣學徒を送る[illegible]き壯行の式典は二十二日午前九時半より新公園內[illegible]で擧行された[illegible]に「乙女とは[illegible]此の手、此の足[illegible]」との決意を[illegible]

[illegible]「只今差上げる[illegible]」[illegible]乙女達の赤心に[illegible]

寫眞說明 (1)會場に於る出陣學徒 (2)同女子學徒 (3)出陣學徒市中行進 (4)桔梗倶樂部の壯行會

1

2



4

獨立親和の浸透全し
不退轉の決意闡明
戰爭目的不變 東條首相名古屋で講演

【名古屋電話】東條首相は二十日二十二時三十分東京發名古屋に赴き廿一日[illegible]何候午後〇〇[illegible]作所を視察同所において「大東亞の結果と我等の推移について」と題して[illegible]、その要旨左の如し

昭和十六年十二月米英に對する[illegible]の大詔を拜しましてより早くも二周年に垂々としてゐる、その間[illegible]

ビルマ戰
[illegible]

戰爭完遂
と大東亞[illegible]

戰艦四隻
を含む五十[illegible]

航空部隊
があります[illegible]

重大性を
認識し、直[illegible]

懷疑的と
[illegible]

學習院出陣學徒壯行會
[illegible]

陸軍整備學校卒業式
所澤

【所澤電話】所澤陸軍整備學校では二十二日午前十一時から第〇期少年飛行兵並に[illegible]卒業式を擧行した[illegible]

廢品更生研究所
家庭の不用物、衣服類等などの[illegible]

大戰果と銃後の心構へ
"量"で戰果に應へよ
決戰場を偲ぶ 高橋大將

【東京電話】昨年十二月南太平洋戰線に打ち勝つた帝國海軍航空部隊並に〇〇部隊、[illegible]

陸軍豫科士官學校を視察
外地新聞代表

【東京電話】大東亞新聞大會に參加した外地代表一行四十二名は二十[illegible]

意氣烈々
生產工場街

【東京電話】前線へ一機でも多くの飛行機を送れと[illegible]

外地新聞代表
土浦を見學

【東京電話】大東亞新聞大會出席の外地代表一行は二十二日午前十時[illegible]

產業戰士
である[illegible]

今夜の番組
【第一放送】▲六・〇〇[illegible]

倭寇
(14)
村松梢風作
中一彌畫

說客 (五)

[illegible]

滿巴臘結核 (るいれき)
弱い方には「[illegible]專門藥」が好適です!
[illegible]
東京療養專門藥院研究部

藥店に急告!
賣藥一流品を時節柄充分に御仕入れ下さい
先んずれば勝利、今なら在庫品豐富賣藥製造業者整備後の販賣品を充分に確保されたし
[illegible]
大阪市港區八幡屋大通一丁目
賣藥卸問屋 岡本全快堂本店
[illegible] 野村銀行市岡支店